

目指す学校像	美園小の新たな伝統を築き上げ 美園の地に信頼を土台とした子ども一人ひとりが輝ける学校
--------	--

重点目標	1 主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)を実現する授業改善を通し、これからの時代に求められる資質・能力を育成する 2 安心・安全な教育環境を整備し、人間性豊かな子どもたちを育てる 3 地域とともにある学校づくりを推進する 4 教職員の資質向上を図り、持続可能な教育活動を実践する組織づくりを行う
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標			年度評価				実施日 令和7年2月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【学力向上に関する取組】 (現状) ○R5の6年生の全国学テにおいて、国語・算数は全国や市の平均とほぼ同程度である。 ○市学調で、現4～6年は各教科ともに「授業が分かる」が市の平均と比べて良好である。 ○学校評価の「分かりやすい学習指導」の項目で、保護者・児童ともに肯定的な回答が94%である。 (課題) ○市学調では、現4～6年は各教科ともに市平均程度であり個人差がある。また、「読書好き」の肯定的回答が全学年市平均より低い。 ○研究指定の発表を終えたが、「勉強が好き」「発表したい」の割合が伸びなかった。	・ICT環境を最大限に活用した学びの充実 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	1 学校課題研修を中心に、ICT環境を最大限に活用した主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を行う。 2 エバンジェリストを中心に、SSDBの毎日の利用と効果的な活用の研究を行う。 3 管理職の授業観察や、指導主事による指導訪問等によって授業改善を実施する。	1 児童の家庭学習において、授業の発展・補充を図った内容をICTの活用で行うことができたか。 2 教師がICTを活用することで、授業改善や業務改善を図ることができたか。 3 エバンジェリストを核にして、タブレット活用研修を実施したか。					
2	【安心・安全に関する取組】 (現状) ○いじめは毎年起きており、担任や組織で対応しているが、見守りを継続している事案もある。 ○長期欠席者が多くおり、関係機関と連携したり担任や学年、学校全体で対応したりしている。 ○心と生活のアンケート等を実施し、児童の悩みの把握に努めている。 ○学校評価の「いじめ」「生徒指導」「登下校」の保護者の肯定的回答が80～85%である。 (課題) ○保護者等との教育相談を積極的効果的に行う。 ○いじめの認知を積極的に行い、早期対応する。 ○事故等が発生した際に迅速・適切に対応する。	・安全で安心できる快適な教育環境の整備 ・家庭や地域、関係機関と連携した組織的な対応	1 交通事故や食物アレルギー事故の未然防止のため、日々の生活指導と計画的な安全教育を実施する。 2 事故発生時に適切な対応を行うために、校務分掌を生かして計画的な研修を実施する。 3 登下校時の安全指導を計画的に実施する。 4 学年園や花壇を活用して、潤いある教育環境を整備する。	1 学校評価教職員アンケート「備品整備」で肯定的回答が前年(95%)より向上。 2 学校評価保護者アンケート「環境整備」で肯定的回答が前年(96%)より向上。 3 学年園等を活用して、栽培活動を実施できたか。 4 学校評価児童アンケート「楽しく登校」で肯定的回答が前年(88%)より向上					
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 (現状) ○小・中一体型の学校運営協議会が機能し、連携・協働の取組が実施できている。 ○地域の活動や行事等が徐々にコロナ前の内容等で実施できるようになっている。 (課題) ○学校教育の充実や地域との連携強化のため、施設設備の有効活用を図る。 ○学校運営協議会とSSNとの連携により、児童の健全育成に関わる活動を検討、実施する。 ○市学調の「地域行事への参加」の肯定的回答が全学年市平均より低い。	・学校運営協議会とSSN等との連携・協働 ・地域や関係諸機関と連携した教育活動の実施	1 学校・家庭・地域が連携・協働する美化活動等を実施する。 2 学校運営協議会の定期的開催と、様々な行事等での協議会委員の参加機会を設ける。 3 PTAや地域主催行事への児童、教職員の参加を促す。	1 学校評価保護者アンケート「地域と連携」で肯定的回答が前年(94%)より向上。 2 学校評価保護者アンケート「家庭と連携」で肯定的回答が前年(91%)より向上。 3 PTAや地域主催行事に児童や教職員が参加できたか。					
4	【教職員の資質向上に関する取組】 (現状) ○市の研究委嘱の発表を終え、学校全体で学校課題に即した研究を行う下地ができています。 ○R5の月平均45時間以上の在校時間勤務をしていた者は各月平均2割程度いた。 ○教職員の研修意識は高い。 (課題) ○きまり等を共有化・日常化し、指導の一貫性と指導力向上を図る。 ○初任者、臨任者等の経験が少ない教員の指導力を育成する。 ○学校全体で業務改善と業務の平準化を進める。	・教職員のキャリア段階に応じた資質・能力の向上 ・「やりがい」「働きがい」を高める働き方改革の推進	1 キャリア段階に応じた受講奨励を当初面談や中間面談等で行う。 2 教職員一人ひとりの専門性を高めるための高学年教科担任制を実施する。 3 管理職による毎日の教室巡回の実施と、年1回以上の授業観察及びFBを実施する。	1 学校自己評価の教員の「授業改善」で、肯定的評価を向上できたか。 2 管理職による毎日の教室巡回と、年1回以上の授業観察及びフィードバックを実施したか。 3 当初面談等で研修奨励を実施したか。					
			1 全教職員で教育環境と教育活動の見直しと改善を通年行う。 2 教職員自身の出退勤時刻の把握と、管理職の指導助言を実施する。 3 効果を高め効率化を進めるための、校務支援システムを活用する。 4 各学年主任・副主任体制を実施する。	1 ストレスチェックの「総合健康リスク」が市の前年平均(84)より低位。 2 学校評価教職員アンケート「業務改善」で肯定的回答が前年(82%)より向上。 3 人事異動調書の職場環境満足度の肯定的回答の向上(R5:76%)。 4 人事異動調書の満足度の肯定的回答の向上(R5:73%)。					